

国際園芸アカデミー運営向上プラン

1 学校の魅力発信（入口対策）

現状	対応策	実施内容	実施年度					
			R 1	2	3	4	5	
卒業後即戦力となるよう、常に業界のニーズに合った魅力ある教育を提供する必要がある	時代のニーズに合わせた教育の展開	教員の（指導力・技能）研修計画の策定	→					
		教員の専門分野及び指導力向上に関する外部研修受講	→					
	最新技術習得による指導能力向上と人的ネットワーク構築に向けた教員の企業派遣研修の実施	教員の関連企業（造園、花屋、花き生産企業等）での短期研修の実施	→					
学校の活動内容が広く知られていない	学校の活動や魅力を外部に発信する。	ホームページの充実による情報発信の強化	→					
		花き園芸・造園緑化業界と連携した活動のPR	→					

2 社会の変化に対応した学校づくり

現状	対応策	実施内容	実施年度					
			R 1	2	3	4	5	
企業や自治体との連携が弱く、ニーズを的確に捉えた教育を実践することができていない。	産学官連携体制を構築し、業界ニーズを的確にとらえた教育の実施	県産花きを用いた授業の開催	→					
		花き園芸・造園緑化業界と連携した課題の設定と検証	→					
		花き園芸・造園緑化業界と連携した活動のPR（再掲）	→					
		花き園芸・造園緑化業界の課題に対応できる施設整備の推進	→					
	海外の園芸協会等民間団体や大学との人材育成面での連携推進	連携可能な海外の教育機関等の選定調査	→					
		海外業界団体及び教育機関との連携内容の検討・覚書等締結の推進 視察や研修の受け入れ等、連携機関との相互交流による技術・人材育成の推進	→					
・教員の異動がないことが、活性化が図られず膠着化する要因の一つとなっている。 ・専門的な知見はもとより、教育者として学生を指導する教員が求められている。	時代のニーズに合わせた教育の展開（再掲）	教員の（指導力・技能）研修計画の策定（再掲）	→					
		教員の専門分野及び指導力向上に関する外部研修受講	→					
	教員の異動及び雇用形態の柔軟化	花き園芸・造園緑化業界等との人事交流の促進	→					
	教育水準向上に向けた人事計画の策定	各コースにおける教員のキャリアバランスを考慮した人材育成計画の策定	→					
可児市の花いっぱい運動への参加や、花フェスタ記念公園との連携により、実習フィールドとして活用	地元市町村との連携協定を締結し、花き栽培、花壇装飾、身近な緑化に関する講義の開催等、まちづくりに対する生涯学習等を展開	連携に関する県内市町村への要望調査	→					
		連携内容やスキーム・仕組みの策定	→					
		連携に関する覚書等の締結・推進	→					
花フェスタ記念公園の一部に実習フィールドを設け、実習を行っている。	学習環境を整備するため、花フェスタ記念公園に学校機能の移転を検討	国際園芸アカデミー機能移転調査部会（仮称）の設置・運営	→					
		移転の可能性に係る調査の実施、花フェスタ記念公園再整備計画等を踏まえた基本構想の策定	→					
		移転の可能性調査、基本構想を踏まえた整備の推進	→					

3 就職・就農支援の強化(出口対策)

課題	対応策	実施内容	実施年度					
			R 1	2	3	4	5	
教育の核として5つの能力「生産、装飾、造園緑化、流通、経営」を有しているが、アカデミー内で留まっている。	コンソーシアムの設立も含めた企業との連携推進	花き園芸・造園業界の声や実情を踏まえた課題の共有化	→					
		清流の国花き戦略会議や教育課程編成委員会等既存の組織との連携	→					
	生徒と企業とのマッチング機会の創出	学校における企業説明会の開催	→					